

# 6 柔道競技会

## 1 期 日

令和7年7月5日（土） 13:00～17:00

## 2 会 場

マエダハウジング東区スポーツセンター [広島市東区牛田新町一丁目8番3号]

## 3 種 目

### (1) 団体戦

ア 小学生(3～4年生)の部

イ 小学生(5～6年生)の部

ウ 中学生男子の部

エ 中学生女子の部

### (2) 個人戦

幼年 年少年中・年長

小学 1・2・3・4・5・6年生の学年別及び男女別

中学 1・2・3年生の学年別及び男女別

## 4 参加制限

(1) 個人戦は、フリーとする。

(2) 団体戦は各団単位（各道場・教室）で各部2チームまでとする。

## 5 競技規則

### (1) 競技別上の規程及び方法

国際柔道連盟試合審判規定・（公財）全日本柔道連盟少年大会特別規定に準ずるほか、次による。

ア チーム編成は、監督1名、選手3名とする。

注) 該当学年でチーム編成が困難な場合、1学年下位から補充できるものとする。

(小学2年生の3～4年生の部への出場も可能)

ただし、中学生の部に小学生は出場できない。

イ 選手の配列は学年順(同学年では体重順)とする。

ウ 団体戦の勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「有効」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価がない、または同等の場合、「指導」差が2対0となった場合のみ「指導」0の選手を「僅差」による優勢勝ちとする。

「一本」「技あり」「有効」「僅差」以外は引き分けとする。

なお、試合の勝敗は、勝数の多少により決定する。勝数同数の場合は、内容による。内容も同じ場合は任意の選手を選び、代表戦で決定する。

代表戦でも勝敗がつかない場合は旗判定とする。

エ 個人戦の勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「有効」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価がない、または同等の場合、「指導」差が1対0となった場合のみ「指導」0の選手を「僅差」による優勢勝ちとする。

「技あり」「有効」「指導」も同等の場合、ゴールデンスコアは行わず、1審は絶対判定、3審は旗による「判定」で勝敗を決定する。

エントリーが少人数の場合、2学年を同一クラスとする場合もある。

オ 試合時間は、団体戦・個人戦とも全て2分とする。

## 6 試合方法

トーナメント方式（個人戦の予選はリーグ戦）とする。

## 7 表 彰

- (1) 団体戦  
1 位にメダルを、1 位から 3 位まで賞状を授与する。
- (2) 個人戦  
各種目別に 1 位にメダルを、1 位から 3 位まで賞状を授与する。

## 8 組み合わせ

主催者で行う。

## 9 競技上の注意

正しい礼法

## 10 参加料

1 人 5 0 0 円（大会当日に受付で徴収）

## 11 参加申込

- (1) 所定の申込書に団員登録用紙（写）を添えて郵送で申し込む。
- (2) 締切期日は、令和 7 年 6 月 5 日（木）必着とする。
- (3) 申込先 〒731-0111 広島市安佐南区東野二丁目 2 2 - 1 2 - 1 7  
広島市柔道スポーツ少年団 中本征則 宛

## 12 その他

- (1) 大会中の傷害・事故について、主催者は一切その責めを負わない。
- (2) ごみは、各自・各団で持ち帰り処理すること。